

# 2018年度

## ロシア留学報告書

実習先：ウラジオストク国立経済大学

実習期間：8月28日～12月27日

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017059

酒井 健佑

## 目次

1. 留学先及び期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	4
4-1 留学のスケジュール	4
4-2 留学の詳細	5
5. 当初の目的及び目標への到達度	7
6. 反省・課題	8

謝辞

付録：授業の詳細

## 1. 留学先及び期間

留学先：ウラジオストク国立経済大学

留学期間：平成30年8月28日（火）～12月27日（木）

## 2. 留学先概要

### (1) 大学について

ウラジオストク国立経済大学は1967年に開学をした。8つの学部を持ち、学生数はおよそ15,000人で、中央キャンパスはウラジオストクの市内中心部に位置している。法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらに高度な専門教育を受けることもできる。また、ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関のひとつで、設備も充実しており、学生用のカフェや食堂、複合型のスポーツ施設などが設けられている。

### (2) 大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学はアメリカや日本、中国、韓国、ニュージーランドなどの諸外国と提携しているため、学内には多くの外国人留学生が見受けられる。外国の複数の大学と連携し、卒業時に2つの大学から同時に学士学位を取得できる共同学位（ダブルディグリー）プログラムも実施している。

## 3. 留学目的

今回の留学の目的の一点目は語学力の向上である。1年次の後期から習っているロシア語だが、文法やアクセントの位置による発音の変化など難しいものであった。4年間日本でロシア語を勉強するのも良いが、それよりも現地のロシアで勉強をした方が生きたロシア語を学ぶことができ、ロシアの文化を実際に体験できる。現地では必然的にロシア語をロシア語で学び、ロシア人の方とロシア語でコミュニケーションを取るようになるため、日本にいる時よりも効率よく学ぶことができるのである。

二点目は見聞を広めるためである。宗教も歴史も全く違う国の文化を知る異文化交流は、今後の人生の進め方、そして自分の在り方を考え直す良い機会であると考えている。また、国際化が進む現代に生きるのであれば異文化交流は必要不可欠であり、この留学を通して語学以外にも精神的に成長し、国際人としての一步を踏み出すこともこの留学における目的の一つとした。

#### 4. 留学内容

以下から留学の内容を記述する

##### 4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下の通りである。

月	日	イベント
8	31	授業開始
9	3	クラス分けテスト
	10	クラス別授業の開始
	15	トカレフスキー灯台を観光
	23	ハイキング
	24	日本語の授業の見学
	27	美術館訪問
	30	トラの日、パレードに参加
10	5	授業の代わりに駅近くの公園でレクリエーション
	6	サーカスを鑑賞
	13	植物園訪問
	28	オペラ『カルメン』鑑賞
	30	サファリパーク訪問
11	3	バレエ『海賊』鑑賞
12	12	長文読解のテスト
	13	会話、音楽のテスト
	14	歴史のテスト
	17	リスニング、文法、地理のテスト
	18	文章表現と美術のテスト
	24	ウラジオストク郊外の公園へ遠足
	25	クリスマス会、成績表を授与

#### 4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してあるイベントの内容は以下の通りである。

##### i) 授業

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1限	会話	文章表現		会話	
2限	長文読解	リスニング	会話	リスニング	長文読解
3限			文法		文法
4限	地理	美術		音楽	歴史

留学が始まってすぐのクラス分けテストによって分けられたクラスで、韓国人の留学生たちと1,2,3限の授業を受けていくことになる。4限はNUISの留学生組で受ける授業となる。

##### ii) トカレフスキー灯台を観光

ウラジオストクの観光スポットとして人気の高い灯台へ赴いた。この日はあいにくの曇り空であったが、海と灯台、街並みの景色は日本では見ることのできない風景であった。



### iii) ハイキング

日本語を学んでいる学生の方々と山へハイキングをしに行った。山でバーベキューをしてロシアの雄大な自然に触れることができた。



### iv) トラの日

主にロシア極東から中国東北部に生息しているアムールトラを保護する日で、軍人から学生まで、多くの市民がパレードをする。



### v) レクリエーション

サナトールナヤ駅近くの公園で В Г У Э С にいる留学生が集まってレクリエーションを行った。クラス分けによって分けられたクラスで、各所に点在している学生ガイドに従ってゲームをし、スタンプを受け取っていくというものであった。

vi) オペラ『カルメン』、バレエ『海賊』を鑑賞

日本円にして約 1,000 円という安価で本格的なオペラとバレエを鑑賞した。基本的に席を移動しても構わないようで、最前列で鑑賞することができ、日本では出来ないような贅沢な体験ができた。

vii) サファリパーク訪問

サファリパークは郊外に位置し、かなりの広さがあった。トラや鳥、カワウソ、クマなどが多く飼育されており、シカとは触れ合うこともできる。



viii) クリスマス会

お別れ会も兼ねて韓国の留学生の方々、先生方とクリスマス会を行った。先生が紅茶を淹れてくださり、皆で歌を歌ったりして楽しい時間を過ごした。

## 5. 当初の目的及び目標への到達度に対する自己評価

留学行って、語学力が向上したと実感できた。留学当初は先生や相手が何を言っているのか理解できないことや、言いたいことが伝えられないことが多々あり、授業は勿論のこと買い物でも苦勞をした。しかし、しばらくすると多少は聞き取れるようになり、授業で習った表現を活かすことで買い物もスムーズに行えるようになっていった。現地にいたからこそ、習った表現をすぐ使うことができ、習慣として身につけることができた。

また、ロシアの文化についても深く学ぶことができた。ロシアの伝統的な音楽や、極東の自然、歴史や絵画を授業で学ぶことができたのはとても貴重な体験であった。

## 6. 反省・課題

ロシアで過ごした4か月はとても有意義なものであったが、最初の1か月ほどは課題が非常に難しく、授業もついていくことが困難であった。留学前の勉強が不十分であったことが故に簡単な単語や文法などが分からず苦勞したため、留学を行う前に予め日常生活で使いそうな単語調べや、教科書を自分で進めておくことが重要だと感じた。留学をしてロシア語が上達したとは言え、ロシア語の聞き取りや書き取り、話す能力は未だ発展の途上である。そのため、これからの大学生活でロシア語の能力向上に向けて研鑽を積んでいきたいと考えている。

## 謝辞

今回の4か月間の留学において指導、サポートをしてくださったウラジオストク国立経済大学のユーリヤ先生やスヴェトラーナ先生、マリーナ先生、その他の大勢の先生方や関係者の皆様に深く感謝いたします。また、留学前にロシア語の授業、事前研修、留学のサポートなどを行ってくださった神長先生、プラーソル先生には心より御礼申し上げます。また、新潟国際情報大学から頂いた奨学金によって本留学の参加が実現し、貴重な体験ができたことに心より感謝いたします。

## 付録：授業の詳細

- ・ **Аудирование** (リスニング)  
CDで音声を聞いて教科書に書いていく。穴埋め問題が難しく、習っていない単語も多く出るため苦勞をした。
- ・ **Чтение текстов** (長文読解)  
教科書に載っている長文問題を読んで解いていく。単語一つ一つにアクセントの位置が載っているため読むことは容易である。読解が難しい。
- ・ **Российский ДВ** (地理)  
極東の自然と地理について学ぶ。難解な単語などが多く出てきたが、先生が分かりやすく教えてくれるため授業についていくことができた。
- ・ **Разговорный русский язык** (会話)  
一週間のうちに3時間あり、最も多い授業となる。この授業で基本的に日常の単語を覚え、道案内や交通など日常生活に役立つ会話表現を学ぶことができる。ペアワーク



やグループワークで活動することが多く、テーマについての考えを発表をすることも多かった。

- **О с н о в ы И З О (美術)**

ロシアの伝統的な工芸品や民族衣装、絵画などを学ぶ。この時間は絵を描くことが多い。ホフロマ塗りやグジェリ、マトリョーシカ、秋・冬の風景画を描いたりした。

- **Л е к с и к а и г р а м м а т и к а (文法)**

文法や格変化を学んで文章を作っていく。ロシア語の複雑な部分である格変化が主となってくるため難しい授業の一つとなる。だが、分かってくると文章が作れるようになり、日常生活で目にする何気ない文でも「ここは何格で、ここは何格・・・」と理解できるようになるため、勉強のモチベーションアップに繋がる授業でもある。

- **Р у с с к и е н а р о д н ы е и н с т р у м е н т ы (音楽)**

ロシアの伝統的な楽器や、音楽について学ぶ。歌を歌う時間が多く、稀に楽器を皆で演奏することもあった。

- **Б е с е д ы п о и с т о р и и (歴史)**

ロシアの中世から近世にかけての歴史を学ぶ。歴史という専門的な授業であるため、日常でも聞かない単語が教科書に羅列していて予習が必須である。文章の単語にはアクセントの位置が振られていないため、単語調べをした際に一緒にアクセントの位置を調べて印をつけておくと良い。